

## 第1学年 生活科 活動略案

令和7年11月21日 5校時  
1年4組 33名

1. 単元名 「もっと!もっと!モルモット!」

2. 本時のねらい

モルモットが快適に遊べる工夫を考え、学級全体で話し合い、試しながら遊び場を改良する。

3. 教師の願い

○モルモットの観察や触れ合いを通して、小動物への親しみをもち、大切にしようとする心情を育んでほしい。

○問題を解決するために、意見の違いを認め、生かし合いながら、協働して活動に取り組んでほしい。

4. 前時の様子

前時までに、「スキップのいちよんワールド」の完成に向けて、チームに分かれて制作していた。前時では、それぞれで作っていた遊び場を合体して、スキップを遊ばせたことで、成果と課題を見付けている。

5. 本時の展開(17/25)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等	評…評価
スキップが「もっと」たのしめるように、スキップのいちよんワールドを「もっと」かいりょうしよう!		
1. 前時の振り返りと、本時の流れの確認をする。  C:スキップのために、さらに楽しい「スキップのいちよんワールド」にしたい。	○前時に発見した問題を思い出し、解決したいという意欲を高める。	
2. 問題に対する自分の考えを出し合う。  C:この道を広げると、通りやすくなると思う。	○一人ひとりの思いや願いを大切にするために、考えを発表しやすい雰囲気をつくる。	
3. 意見の共通点や相違点を確かめたり、賛成意見や心配意見を述べたりしながら比べ合う。  C:前回この道で引っかかるかっていたし、広くすることに賛成。  C:広げるということは、壊すということ?	○出された意見の分類・整理を行いながら、黒板に記録する。 ○自分と異なる意見や少数意見も尊重できるよう、言葉掛けをする。	
4. 意見の違いを認め合い、折り合いを付けるなどして、合意形成を図り、まとめる。  C:賛成意見が多かったから、この道は広げよう。 C:壊すのではなく、付け足すのなら納得できるよ。	○意見を合わせたり条件を付けたりして、できるだけ多くの意見のよさを生かす方法を考える。	
5. 決まったことを基に、遊び場を改良する。  C:押さえておくから、これをはがしてほしい。 C:スキップ来て!通れるかな。	○すぐに活動に取り掛かれるよう、材料や机の配置などの環境を工夫する。 ○モルモットを試しに遊ばせることで、即時に課題を見付け、解決するために探究を繰り返すことができるようになる。	
6. 片付けをする。  C:モルモットが食べたら大変だから、しっかりお片付けしよう。	評遊び場作りや片付けを通して、友達と協力しながら自分の役割を全うすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】(行動観察)	
5. 本時の活動を振り返り、次時の計画を立てる。	○本時の活動を振り返り、感想や考えたことを共有する。次回、どんな活動をしていくかを考える。	